

地理総合

【はじめに】

地理総合は、①持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察すること、②グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察すること、③地図や地理情報システム（Geographic Information System 以下、GISと略す）などを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得することの三点を科目の主要な特徴としています。基本的な知識等を理解することは前提になりますが、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を持つこと、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解すること、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることが求められます。

【授業を受けるにあたって】

予習：予習よりも復習に力を入れましょう。苦手な人は教科書を一読しておくことで授業の理解度が異なります。

興味のある人は、教科書の内容と関係のある資料集のページを読み進めていくことを勧めます。

復習：授業で学んだことを整理し直してみましょう。見返したりして復習することで定着度に大きく差が出ます。また、授業では1年次の歴史総合で学んだ内容との関連性を重要視しますので、去年使用した「明解歴史総合ノート」を見直すことも勧めます。の論述や、教師から提示される課題に取り組んでみて、考えを深めましょう。

【観点別評価の方法】

○知識・技能の習得（体系化、汎用性）

提出物の内容や定期考査によって到達度を判断し、評価を行います。

○思考力・判断力・表現力の育成（思考力、判断力、表現力）

提出物の内容、授業中及び定期考査における論述問題に対する解答、地図・資料等の読み取り及び考察ができているかを基準にして、評価を行います。

○主体的に学習に取り組む態度（実践力、協働力）

地理的事象について意欲的に探究する姿勢がみられるか、授業中に主体的に活動し、関心を高めることができているか、授業態度、教員の発問に対する応答、提出物の内容や定期考査等を総合的に判断して評価を行います。

【教材】

教科書：『高等学校 新地理総合』帝国書院

『新詳高等地図』帝国書院

副教材：『最新地理図表 GEO』第一学習社

『データブックオブザワールド 2023』二宮書店